

## 「変革 2027」の実現に向けた組織の再編について 提案を受ける！ Part②

- 【組合】 運輸の乗務員教育・指導・養成は現行と何が違うのか？
- 【会社】 乗務員グループの一部業務を現行機関へ移管する。
- 【組合】 総務で現場に移管される業務は？
- 【会社】 寮長業務を統括センターに移管する。新 JINJRE が導入されるため、事務手続きが社員自身でできるようになる。
- ・業務移管や課員の異動の規模感について具体的な数字は現時点でない。
- ・業務移管の方法は、マニュアルとして現場に移管していくことや、業務に人がついていくなど様々ある。
- ・課員の人数としては減る。
- ・業務の移管における予算配分について、営業と運輸が一緒になるが東北本部と調整となる。

### ✓ 設備技術センターの設置について

- ・支社と現場で重複していた業務を、1つの事業所でスピード感を持っておこなえるメリットがある。
- ・教育、安全指導体系の一部を集約するため、改正後は1名減となっている。
- ・設備部企画課のみ支社に残るのは、保線としての企画業務を持っていないため。
- ・保線設備技術センターの役割は横串調整の強化。より保線が一体となる体制を計画している。
- ・設備事務センターは設備部企画課に統合する。
- ・予算については基本的には現場からの要求で、これまでと大きく変わりはない。

### ✓ その他 (営業)統括センターについて、説明会等について

- 【組合】 支社実行計画にも記載されているが、今後も統括センター、営業統括センター化を目指していくのか。
- 【会社】 推進していくということ。実行計画にも記載したが、目指しているが決定はしていない。決まり次第別提案とする。今回の再編提案とは切り離して考えていただきたい。
- 【組合】 統括センターが発足したが、課題の洗い出し、解決していない中で推進していくのか。
- 【会社】 現時点で致命的な課題はなく順調に推移している。方向性としては推進していく。

- 【組合】 最大の変革であり大きな施策である。社員説明などのスケジュールは。説明会では質問に対して答えられないといった声がある。
- 【会社】 12月にも説明している。設備系統は大きく変わるため説明していく。営業・運輸については、こういった企画業務ができるようになるといった説明になる。
- 【組合】 この間締結した議事録に抵触する内容はないか。
- 【会社】 主語が支社から東北本部に変わるものはあるが、仕事の内容と議事録が抵触するものはないと考えている。

**団体交渉を通じて精力的に議論していきます！**  
働きがいある施策にしていくため、  
職場から声を集約していこう！

